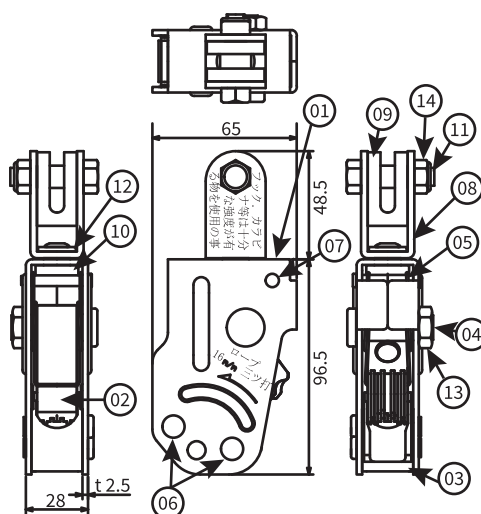
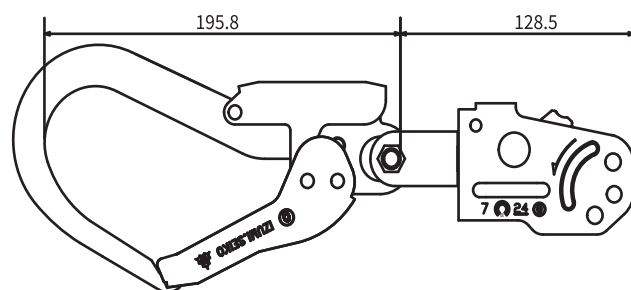
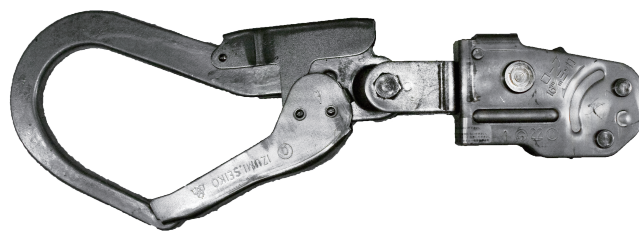


親綱緊張器 JK-SUS-6-MCD

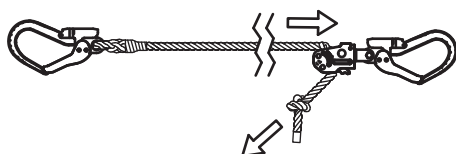
(一社) 仮設工業会認定品



No.	名称
01	本体
02	ZnDC 一体歯型
03	滑車
04	歯形軸
05	歯形スプリング
06	滑車用ピン
07	歯形スプリング受け軸
08	ジョイント金具
09	ジョイント金具スペーサー
10	ジョイント金具連結軸
11	ジョイント軸 B
12	ワッシャー 2.5t×Φ17
13	六角ナット M10 3種
14	Uナット M8

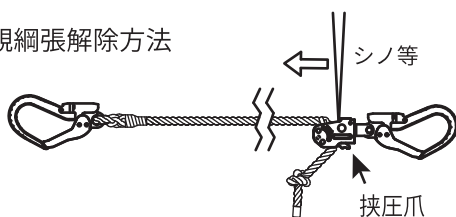


□親綱張設方法

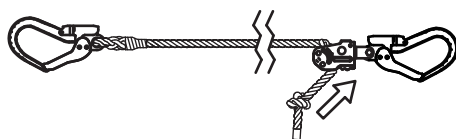


①親綱を矢印方向に引っ張ります。

□親綱張解除方法

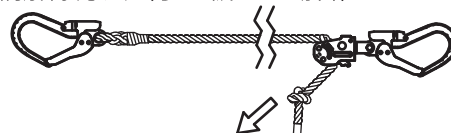


①シノ等を挟圧爪の穴に差し込み矢印方向に動かします。

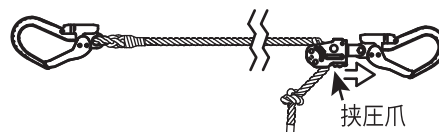


②挟圧爪が解除されますのでそのまま親綱を緩めます。

□親綱解除方法（手で緩める場合）



①親綱を矢印方向に更に引っ張ります。



②挟圧爪が解除されますのでそのまま矢印方向に動かして親綱を緩めます。

※使用上の注意

- 親綱は目で見てたわんでないか、わずかにたわむ程度に、人力で0.3KN(約30Kg)程度で張ってください。
- 親綱を張る前に、作業者は安全確保(墜落制止用器具のフックを躯体等に取り付ける)してから親綱を張ってください。
- 墜落制止用器具は、それぞれの使用方法を遵守し安全に作業してください。(親綱にフックをかけた場合たるみによって落下距離が伸びますので垂直距離を十分確保してください。)
- 16ミリ合成繊維三打ロープを使用してください。又、破損した親綱や1度衝撃を受けた親綱では絶対に使用しないでください。
- 緊張器設置間隔は10m以下で使用してください。
- 緊張器、および親綱フックの固定場所は十分強度のあるところに設置してください。
- 1スパンに作業者は必ず1人でご利用ください。

緊張器本体 ステンレス製

緊張器本体自重 0.56kg

大径フック自重 0.49kg

総重量 1.05kg

販売元

セイコー機器株式会社

製造元

イズミ精工株式会社

代理店